



監修のことば (矢野誠一) 2
 おもな登場人物 6



初天神 10
 元犬 16
 寿限無 21
 長屋の花見 28
 道具屋 36
 愛宕山 41
 だくだく 53
 あたま山 58
 子ほめ 65
 岸柳島 70
 天狗裁き 78



化け物使い 88
 うなぎ屋 96
 大山詣り 103
 へつつい幽霊 116
 船徳 123
 強情灸 134
 そろそろ 139
 あくび指南 148
 夏の医者 156
 皿屋敷 166
 酢豆腐 178



秋

三方一両損 188
 かぼちや屋 195
 目黒のさんま 204
 片棒 212
 お血脈 219
 まんじゅうこわい 226
 権兵衛狸 232
 粗忽長屋 237
 がまの油 243
 火焔太鼓 250

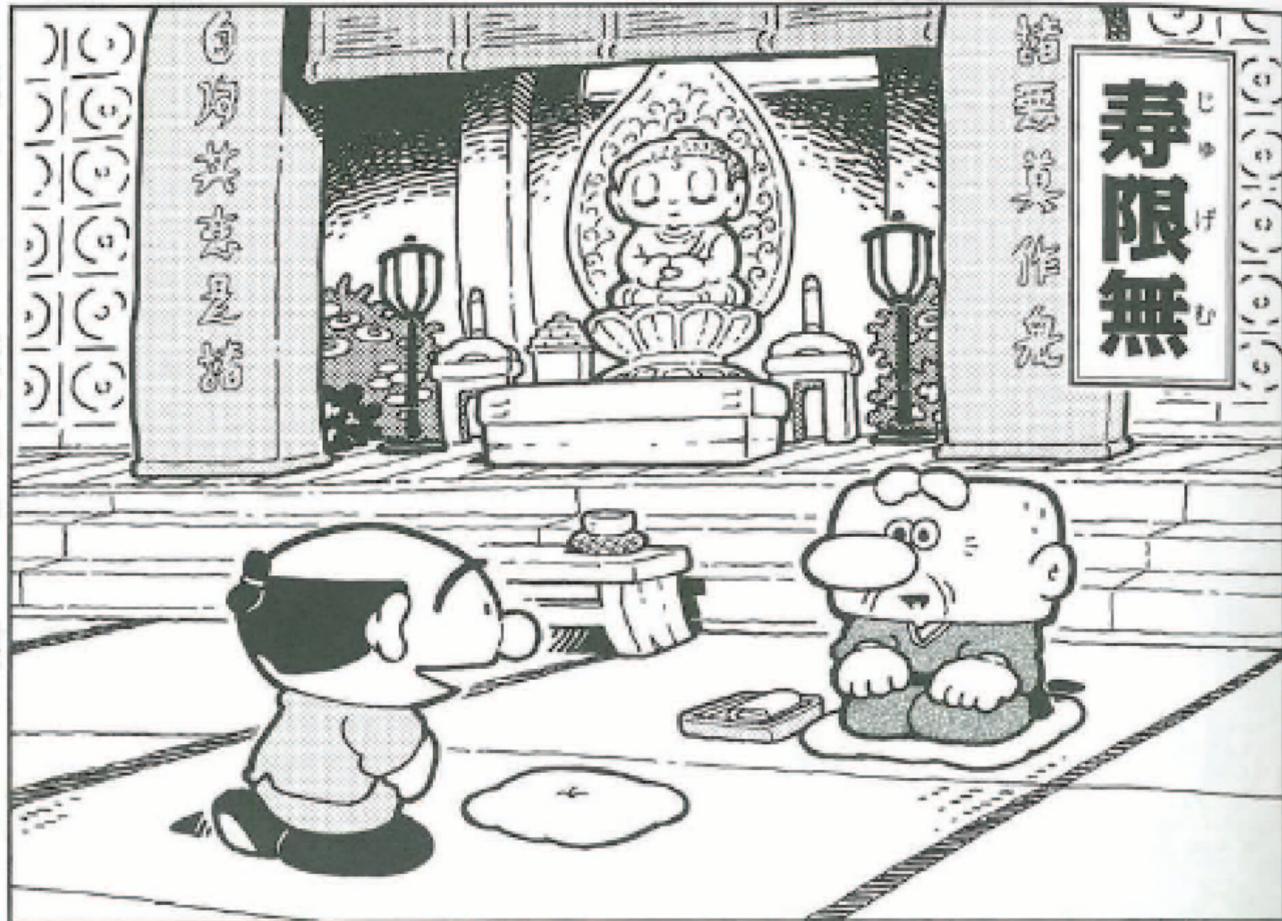


冬

親子酒 264
 ねずみ 268
 時そば 278
 松山鏡 284
 死神 291
 富久 302
 本膳 316
 にらみ返し 324
 芝浜 334
 あとがき (勝川克志) 342
 著者紹介 / おもな参考文献・資料 343
 事項さくいん 347
 演目さくいん 351



お七夜...子どもが生まれて七日目の夜、お祝いをする習慣がある。



●焙炉...十七ページの「江戸ちしき」巻の「い」。

▼動物が登場する落語には、ほかに「犬の目」「牛はめ」「馬の田楽」「王子の狐」「種兵衛狸」「猫の皿」などがある。